

**2013年度 第4回材料研究会シンポジウムのご案内**  
**テーマ：福島除染に関する現状と課題**

福島事故が起こり、既に3年が経とうとしています。しかしながら、除染は必ずしも順調であるというわけではありません。また、中間貯蔵施設の設置場所も決定しているわけではありません。これからさらなる除染活動が必要となると思われます。今回、除染や汚染の現状を報告いただくとともに、除染現場の見学会を企画いたしました。また超電導技術を利用した汚染土壌減容化の可能性について報告いただき、放射線を扱う専門家がこの事故をどのようにとらえているかについてもご意見をいただきます。ふるってご参加いただきますようお願いいたします。

日 時：講演会 2014年3月26日(水) 13:30~16:30  
見学会： 3月27日(木) 9:00~15:00 JR福島駅集合・解散

場 所：

講演会：コラッセ福島3F 企画展示室 C&D(JR福島駅西口より徒歩3分)

福島県福島市三河南町1番20号 <http://www.corasse.com/category/access>

見学会：飯館村除染現場見学(予定)：当日福島駅集合し貸し切りバスで移動します。

(バス人数の確認のため事前予約ください。予約は下記メールにてお願いします。)

[yoko-ak@see.eng.osaka-u.ac.jp](mailto:yoko-ak@see.eng.osaka-u.ac.jp) 所属氏名、当日の連絡先を記載ください。

参加費： なし(どなたでも自由に参加できます)

**プログラム**

**第一日**

3月26日(水)

13:30-13:40 開会のあいさつ 低温工学材料研究会

13:40-14:10、事故から3年、除染の現状

青木 仁(環境省 福島環境再生事務所除染情報プラザアドバイザースタッフ)

14:10-14:40、放射性Csの分布と空間線量マッピング

石田順一郎(日本原子力研究開発機構福島技術本部福島環境安全センター長)

14:40-15:10、磁気分画法を利用した土壌中のCsの微視的動態の解析

秋山庸子(大阪大学)

15:10-15:20 休憩

15:20-15:50、超電導磁気分離法を用いたセシウム汚染土壌の減容化の試み

野村直希(大阪大学)

15:50-16:20、放射線取扱主任者の視点から

矢鋪 祐司(日本アイソトープ協会放射線安全取扱部会近畿支部委員)

16:20-16:25 見学会のアナウンス

16:25-16:30 閉会のあいさつ 電気学会調査専門委員会

**懇親会 17:30より**

福島テルサ 2F レストラン 5000円/人(当日講演会場からの地図を配布します)

福島県福島市上町4番25号(福島(福島県)駅[東口]から徒歩約11分)024-523-0911

<http://www.f-shinkoukousha.or.jp/terrsa/access.html>

**第二日**

3月27日(木) 飯館村除染作業の見学(予定)

バスで移動(バス費用不要) 参加予約の方に詳細を連絡いたします。

オーガナイザー：西嶋茂宏(大阪大学大学院工学研究科環境・エネルギー工学専攻)

共催：電気学会「超電導磁気分離システムを利用した除染技術」調査専門委員会

後援：大阪エクステンションセンター

問い合わせ先：大阪大学工学研究科環境エネルギー工学専攻

西嶋茂宏 TEL:06-6879-7896 [nishijima@see.eng.osaka-u.ac.jp](mailto:nishijima@see.eng.osaka-u.ac.jp)